

タイトル (活動概要)	31 友だちを見つけよう	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」 ⑤ ⑥ ⑮		
タイミング (実施時期)	国語の学習の発展として	活動場所	教室	所要時間	20分
対象学年	幼・ 小低 ・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級	活動場面	国語
活動のねらい	<p><背景>コミュニケーション能力に課題のある子どもが多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの特徴を聞き落とさないように注意してはっきりとした声で質問する ・友だちの質問をしっかりと聞いて丁寧に答える 				
準備	友だち捜しに使える挿絵（アニメのキャラクター等）				
学 習 ・ 活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 友だちの話をよく聞いて友だち捜しをしよう </div>					
2 主活動 ○やり方を知る ・二人組をつくる ・問題を出す人と答える人を決める ・問題を出す人は、友だちの特徴（服の色や形・手に持っている物等）をよく考え、ていねいな言葉でゆっくりという ・分からないときには、「もう一回お願いします。」といて問題を出してもらおう ○ ゲームをする ・時間になったら交代する 3 ふり返り ・友達と一緒に友だち捜しのゲームをやった感想を話し合う		・挿絵を使って教師が例題を出し、やってみせる ・話しやすい机の配置にする ・絵や写真は、子どもたちが問題を出しやすいものを選ぶようにする ・一人何分行うか事前に時間を決め、始めるようにする		挿絵	
配慮事項	・学習の発展として行うので教科書の挿絵ではなく、子どもたちが興味をもつようなキャラクターや捜しやすい特徴がはっきりしているものがよい				